

職務経歴書

200X/4/

名前XXXXXXXX

希望する職種 X線診断装置 MRI などのアプリケーションスペシャリスト

経歴

平成12年4月 XXXXXX病院 入職
(地域/病院名、病床数 XXXX床)
【放射線技師数】3名
【主な職務】 外来・病棟の一般撮影・CT・アンギオ検査

平成13年3月 診療放射線技師としてのスキルアップを求め、同病院 退社

平成13年4月 XXXXXX病院 入職
(地域名、病床数 550床、総合病院、救急指定病院)
【放射線技師数】 18名
【主な職務】 各種モダリティーの放射線技師業務

同病院へ入職し5年、診療放射線技師として、一般撮影、CT検査、胃透視などのX線透視検査、心臓カテーテル検査、血管造影検査に従事。

平成17年10月 64列マルチスライスCT「ブランド名・商品名」の立ち上げを担当す
月平均撮影人数 950人
新機種の導入目的は検査効率の向上。マルチスライスのスピードを生かして増大する患者に対応。月間1000名(1日50人)が目標。検査プロトコルの標準化などの改善を進め、近づけられた。不足は当初の要員数より1名減のため。

平成18年1月 XX県のCT担当を中心とした勉強会「XXXCT勉強会」にて「装置名の使用経験」と題し発表する。
内容は、当院が8列のマルチスライスCTから64列マルチスライスCTへ更新したことから、8列から64列へ更新して何が変わったかを中心に話しました。
(装置名の特徴、撮影件数の変化、CT-angio件数の変化、64列になって冠動脈が容易に撮影できるようになったこと、CTにて冠動脈撮影の有用性、アダムキュービッツ動脈の描出が容易になったこと等。)

平成18年2月 県主催の健康講座という、一般の人を対象に現場の医療技術者が講演する場で、「64列マルチスライスCTによる冠動脈検査」について講演する。

平成18年3月 現在、64列マルチスライスCTの能力を最大限に引き出し、臨床の場で活躍できるよう日夜努力しています。

以上